



図で見る

姫	路
経	済

2 0 1 1

姫路商工会議所

CONTENTS

姫路市の概要	2
姫路市のあゆみ	4
位置・気候・市域	6
人 口	7
産業構造	8
工 業	9
卸売業	9
小売業	10
飲食店	10
港湾・貿易	11
金 融	12
雇 用	12
交 通	13
住 宅	13
姫路の食材	14
観 光	15
姫路の主要プロジェクト	16
姫路市の統計データランキング	20



■ 中核市・姫路市の概要

姫路市は、兵庫県の南西部に広がる播磨平野の中央部にあり、気候風土に恵まれ、地理的条件も良く経済・文化の発展を見た地域です。

市制施行は、明治22年。

戦前戦中においては、軍都であり、また、文教の町、商工都市として大いに発展してきました。

戦後は製鐵を中心とした重化学工業による産業都市へと目覚ましい変貌を遂げ、特に昭和40年代以降はエネルギー基地の装備を経て成長発展しました。

また、数次にわたる近隣市町村の合併を推進しており、平成18年3月には周辺4町を編入合併し、人口53万人の新生「姫路市」が誕生しました。

平成20年12月には、JR姫新線・播但線の高架切替えにより、JR姫路駅周辺の鉄道高架化が完了し、踏切設備の廃止や西側通路の完成等でスムーズな南北通行が実現しました。また姫路市都心部まちづくり構想の下、土地区画整理事業や播磨の中核市にふさわしい都市形成を目指す「キャストイ21」の姫路駅周辺整備プロジェクト等が進行しています。

平成21年度からは、姫路城大天守保存修理が着手され、また「世界文化遺産・姫路城」にふさわしい城周辺整備プロジェクトも進行しています。

高速交通基盤の整備に関しては、姫路市と明石市を結ぶ全長50kmに及ぶ播磨臨海地域道路網構想について県・市・経済団体等で調査・研究が行われています。

さらに、姫路市は西播磨テクノポリスの母都市であり、平成9年10月に本格稼動した大型放射光施設「SPring-8」など世界に誇れる研究施設を活用して、播磨全域の活性化を目指しています。



●市鳥＝シラサギ

●市木＝カシ

●市蝶＝ジャコウアゲハ

●市名のいわれ

播磨国風土記「日女道丘」(ひめじおか)に由来します。

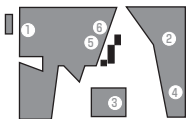
●市花＝サギ草



人 口	536,338人(平成22年10月1日現在)
世帯数	205,496世帯(平成22年10月1日現在)
自然増減数	119人(平成22年) 出生4,999人／死亡4,880人
社会増減数	▲149人(平成22年) 社会増14,166人／社会減14,315人
面 積	534.43km ² (平成22年10月1日現在)
事業所数	27,023事業所(平成18年)
製造業(平成21年)	2,066事業所 製造品出荷額等／1兆6,162億円
卸売業(平成19年)	1,651事業所 卸売業年間商品販売額／1兆1,555億円
小売業(平成19年)	5,410事業所 小売業年間商品販売額／5,952億円
観光入込客数	792万人(平成22年度)
学校・児童・生徒数	小学校 69校／33,563人 中学校 39校／17,127人 高 校 22校／14,944人 (平成22年5月1日)
大学・短大・学生数	大 学 2校 短 大 1校 (平成22年5月1日)

姉妹会議所

姉妹都市(海外)



姉妹都市(国内)

姉妹城

台南市進出口商業同業公会(台湾)

シャルルロア市(ベルギー)①

フェニックス市(アメリカ)②

アデレード市(オーストラリア)③

クリチーバ市(ブラジル)④

太原市(中国)⑤

昌原市(大韓民国)⑥

鳥取市

松本市

シャンティイ城(フランス・ロワーズ県)



シャンティイ城

姫路市のあゆみ

- 明治22 市制施行(全国で39市、県下で姫路と神戸の2市)。
当時市内の町の数101町、戸数4,815戸、人口24,958人、
面積3.03km²。
山陽鉄道、姫路～龍野間開通。
- 27 播但鉄道、姫路～寺前間開通。
- 28 播但鉄道、姫路～飾磨港間開通。
- 29 陸軍第10師団設置。
- 41 市内電話開通。
- 大正 5 姫路駅～野里間乗合自動車運行開始。
- 11 **姫路商業会議所開設**(昭和29年4月1日、現行法による特殊法人姫路商工会議所となる)。
- 15 全国産業博覧会開催。
- 昭和 4 上水道給水開始。
姫津線一部開通。
- 6 姫路城国宝に指定。
- 16 山陽電鉄網干線開通。
- 17 NHK姫路ラジオ中継所開設。
- 19 県立兵庫工業専門学校(現 兵庫 戦後復興がめざましい御幸通り
県立大学)神戸で開校。
- 20 太平洋戦争第1次被爆(川西航空姫路工場、山陽皮革工場
を中心に城東地区爆撃される)。
第2次被爆(市の中心部を含む広範地域が焼失する)。
- 21 **新しい姫路市誕生**(姫路市、飾磨市、白浜町、広畑町、網干
町、大津村、勝原村及び余部村を廃止し、その地域をもって
新しく姫路市を置く)。
- 24 新制姫路工業大学開校。
- 26 市立動物園開園。
- 29 名古山霊苑に仏舎利奉迎(インド・ネール首相から贈られる)。
山陽電車高架乗り入れ開始。
- 30 大手前通り(50メートル道路)完成。
- 31 第11回国民体育大会(本市で、高校ソフトボール、バレーボール
を行う)。
- 32 市営中央卸売市場竣工。
- 33 国鉄山陽本線、明石～姫路間電化。
- 34 姫路港開港指定。
国鉄山陽本線、姫路～上郡間電化。
姫路民衆駅竣工。
- 35 NHK姫路放送局開設。
- 39 **姫路城天守閣解体復元工事完成。**
- 40 姫路～東京間即時通話開始。
木材港(網干)開港。
ベルギー・シャルルロア市と姉妹都市提携。
- 41 **姫路大博覧会開催。**
市花「サギ草」制定。
松本市と姉妹都市提携。
- 42 姫路港、特定重要港湾に指定。
- 47 山陽新幹線、大阪～岡山間開通。
鳥取市と姉妹都市提携。
市木「カシの木」制定。



開設当時の山陽鉄道



戦後復興がめざましい御幸通り



改修中の天守閣

- 48 播但連絡自動車道一部開通。
- 50 姫路国道バイパス全線開通。
- 51 アメリカ・フェニックス市と姉妹都市提携。
- 52 東洋大姫路高校、第59回全国高校野球選手権大会優勝。
- 55 国鉄播但線高架事業着工。
- 57 オーストラリア・アデレード市と姉妹都市提携。
- 58 県立歴史博物館オープン。
市立美術館オープン。
(財)西播地域地場産業振興センターオープン。
- 59 LNG基地操業開始。
国鉄播但線高架完成。
- 60 工場立地促進条例施行。
- 61 大手前通り「日本の道百選」に選ばれる。
- 62 姫路獨協大学開学。
中国・太原市と姉妹都市提携。
- 63 姫路城とフランス・シャンティイ城、姉妹城提携。

平成元 市制100周年を迎える。

- シロトピア博開催。
- 2 日本城郭センター(城内図書館)オープン。
- 3 「鉄道高架化事業」本格始動。
西播磨テクノポリスで大型放射光施設の
建設始まる。
- 4 姫路ケーブルテレビ「WINK」開局。
- 5 姫路城が日本で初めて世界文化遺産に指定。
- 7 1月17日阪神淡路大震災。
- 8 姫路市が「中核市」になる。
- 9 大型放射光施設「SPring-8」供用開始。
- 12 韓国・馬山(マサン)市と姉妹都市提携。
- 13 市街地再開発ビル「イーグレひめじ」完成。
- 15 「環境・リサイクル経済特区計画」が特区第1号に認定。
- 16 観光ナビポートオープン。
ザ 祭り屋台 in 姫路を開催。
- 17 JR「ひめじ別所駅」が開業。
姫路ものづくり支援センター開設。
- 18 JR山陽本線高架開通。
家島町、夢前町、香寺町、安富町の4町を編入合併。
姫路商工会議所まちづくりステーション「街の駅」開設。
「のじぎく兵庫国体」を開催。
- 19 姫路商工会議所、台南市進出口商業同業公会との姉妹提携
締結。
近大姫路大学開学。
- 20 IPSアルファテクノロジーが液晶パネル工場の建設を決定。
JRはりま勝原駅開業。
第25回全国菓子大博覧会 兵庫 姫路菓子博2008開催。
JR姫新線・播但線高架化完了。
姫路城、世界遺産登録15周年。築城400周年。
- 21 新観光案内所(姫路観光ナビポート)オープン。
姫路市イメージキャラクター(しろまるひめ)誕生。
姫路城大天守保存修理事業に着手。
- 22 世界最大級の液晶パネル工場が稼働開始。
姫路城大天守修理見学の愛称を「天空の白鷺」に決定。
「第6回B級ご当地グルメの祭典! B-1グランプリ in 姫路」の開
催日が決定。
姫路城大天守素屋根壁面にギネス級の線画が姿を現す。



シロトピア博

位置・気候(平成22年)

平均気温／15.9度
 最高気温／36.5度(8月19日)
 最低気温／-3.8度(2月5日)
 年間降水量／1525ミリ
 (資料:気象庁)



市域のうつりかわり

明治22年／市制施行

昭和21年／飾磨市、広畑町、網干町、勝原村、大津村、余部村、白浜町と合併

昭和29年／曾左村、余部村、太市村、糸引村、八木村と合併

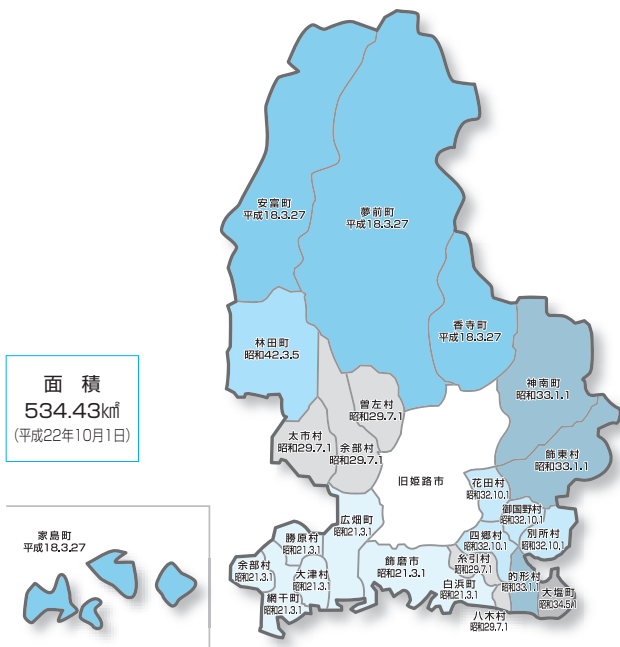
昭和32年／花田村、四郷村、御国野村、別所村が合併

昭和33年／神南町、飾東町、的形村が合併

昭和34年／大塩町が合併

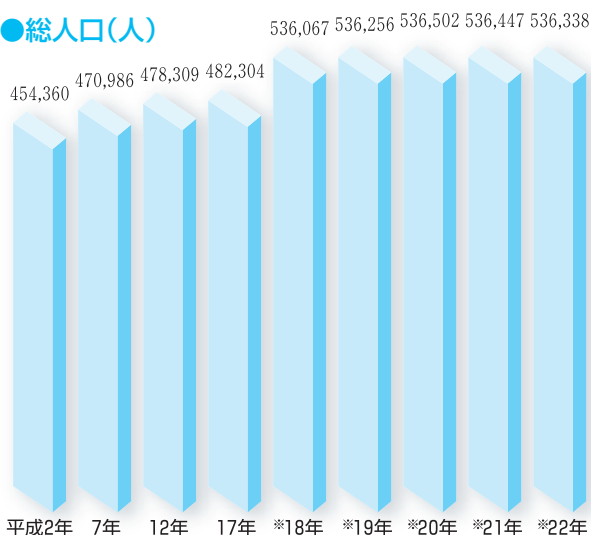
昭和42年／林田町が合併

平成18年／家島町、夢前町、香寺町、安富町が合併

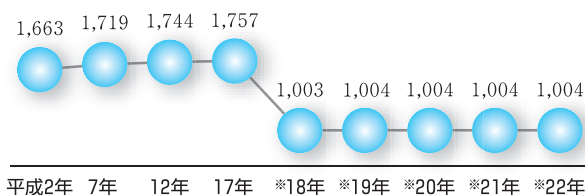


■ 人口の推移(各年10月1日現在)

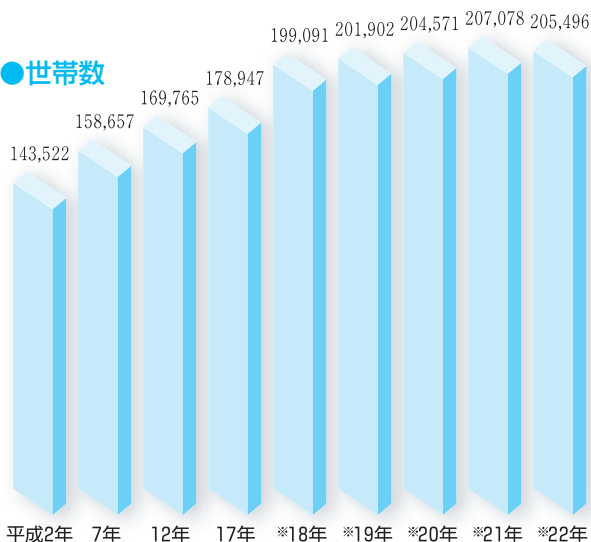
● 総人口(人)



● 人口密度(人/㎢)



● 世帯数

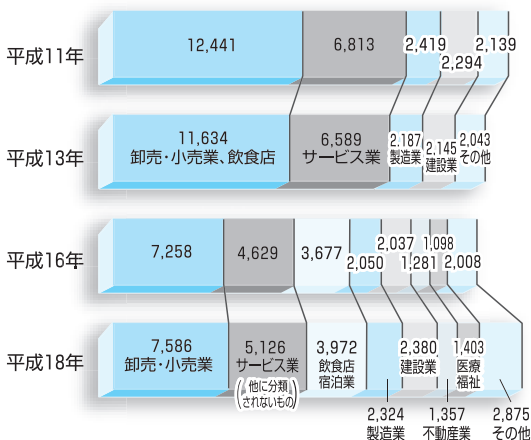


※4町合併後の数値

産業構造

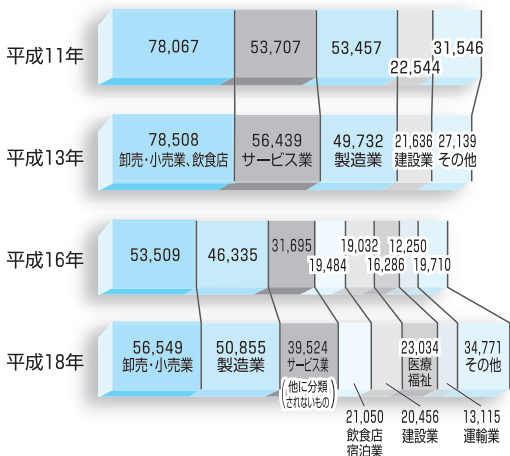
播磨地域の中核都市としての姫路の産業は、臨海部に立地する鉄鋼、化学、電気機械などの重工業と活発な商業活動により発展してきた。こうした経済基盤のうえに西播磨テクノポリスの母都市として産業構造の変革、企業立地環境の整備が急がれている。

●事業所数



(資料:事業所・企業統計)

●従業者数

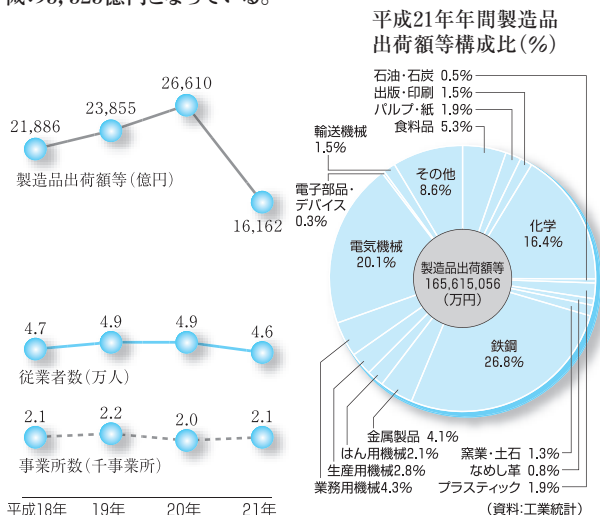


(資料:事業所・企業統計)

※平成16年以降のデータは新産業分類を適用

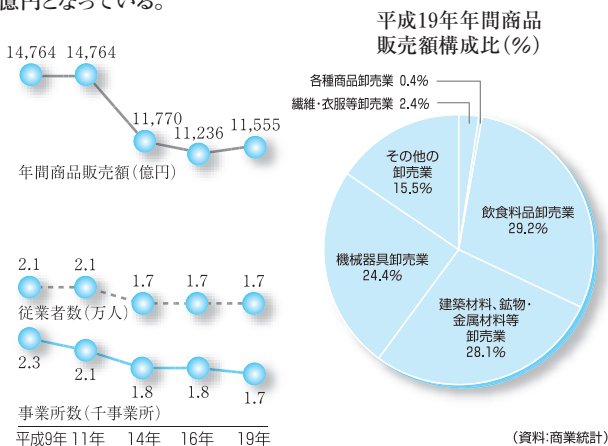
工業

平成21年の工業は、事業所数2,066事業所、従業者数45,890人となっている。また、製造品出荷額等は1兆6,162億円で、これを産業別にみると鉄鋼が4,459億円と最も多く、ついで電気機械の3,323億円となっている。



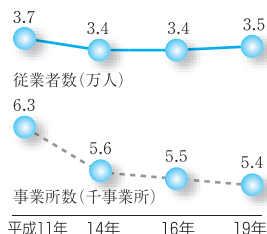
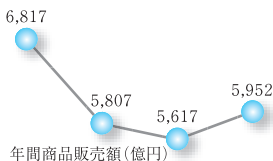
卸売業

平成19年の卸売業は、事業所数1,651事業所、従業者数16,896人となっている。また、年間商品販売額は1兆1,555億円で、これを業種別にみると飲食料品が3,371億円と最も多く、続いて建筑材料、鉱物・金属材料等が3,247億円、機械器具2,816億円となっている。

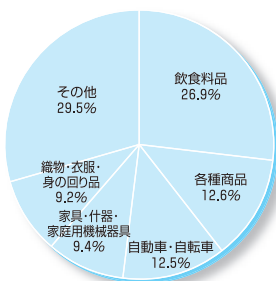


小売業

平成19年の小売業は、事業所数5,410事業所、従業者数34,731人となっている。また、年間商品販売額は5,952億円で、これを業種別にみると飲食料品が1,596億円と最も多く、続いて各種商品746億円、自動車・自転車743億円となっている。



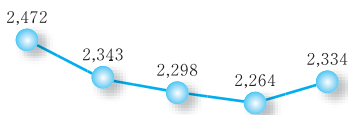
平成19年年間商品販売額構成比(%)



(資料:商業統計)

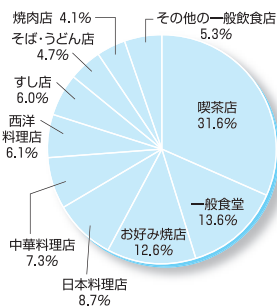
飲食店

飲食店数(店)

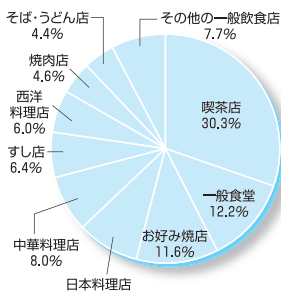


平成8年 11年 13年 16年 18年 (バー、酒場、ピヤホール等は除く)

一般飲食店の内訳(平成16年)



一般飲食店の内訳(平成18年)

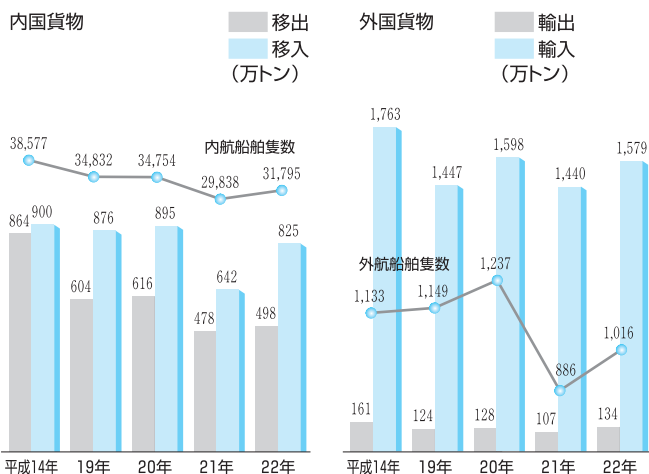


(資料:事業所・企業統計)

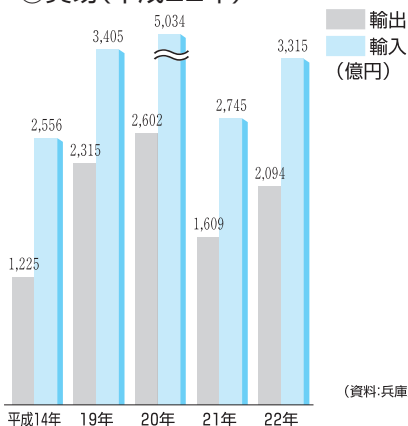
港湾・貿易

姫路港は、瀬戸内海の東部、播磨地域のほぼ中央に位置する特定重要港湾（昭和42年指定）で、東西18kmにわたり、面積約7,700haを有しており、西播磨工業地帯の経済活動の中核的機能を果たしている。姫路港が年間に扱っている海上貨物は、輸移出量632万トン（速報値）、輸移入量2,404万トン（速報値）で、背後地にある重化学工業地帯への原材料補給港としての割合が大きい。入港船舶数は、隻数32,811隻（速報値）、総トン数24,866万トン（速報値）となっており、うち外航船舶数では、3.1%に過ぎないが、トン数では59.8%と半数以上を占め、国際的貿易港としての地歩を固めている。

① 出入貨物・入港船舶（平成22年）（速報値）



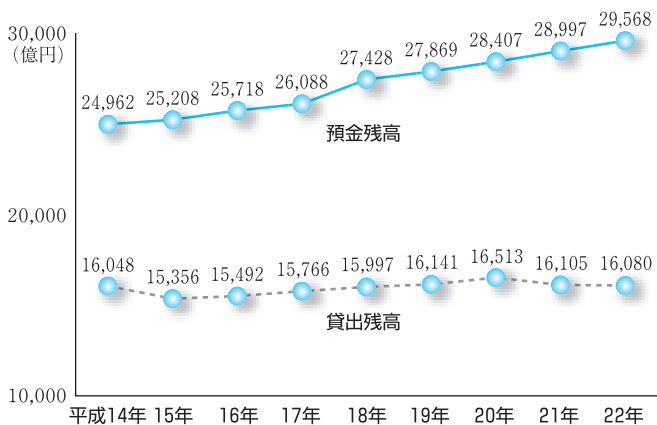
② 貿易（平成22年）



（資料：兵庫県県土整備部港湾課及び姫路税関支署）

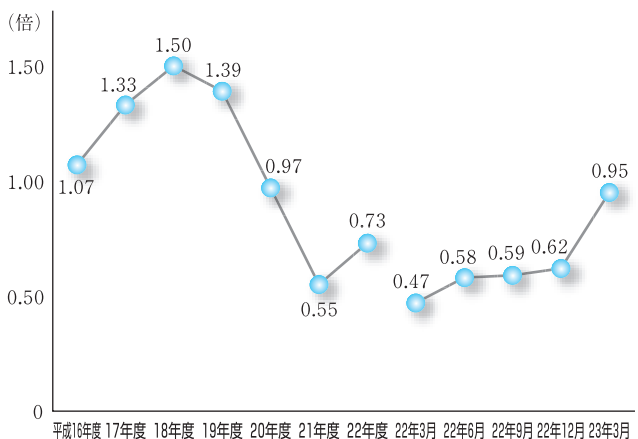
金融

預金残高と貸出残高の推移(億円)
(普通銀行+信用金庫)



雇用

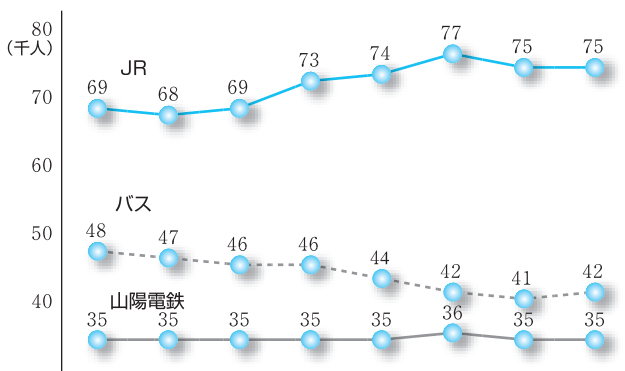
有効求人倍率の推移(一般+パート)



(資料:公共職業安定所)

交通

交通機関の利用状況の推移（1日平均:千人）



平成15年度 16年度 17年度 18年度 19年度 20年度 21年度 22年度

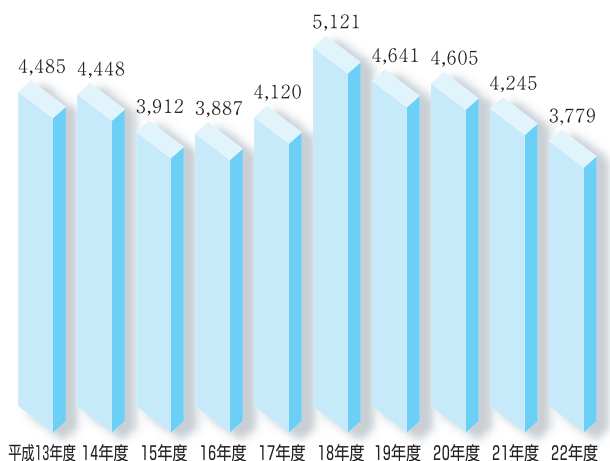
※JR・山陽電鉄・バス（市営・神姫）とも、市内各駅の合計で表示。

平成22年3月27日にすべての市営バス路線を神姫バスに移譲しました。

（資料:姫路市主要統計指標、姫路経済情報誌ファイル）

住宅

新設住宅着工件数の推移（戸）



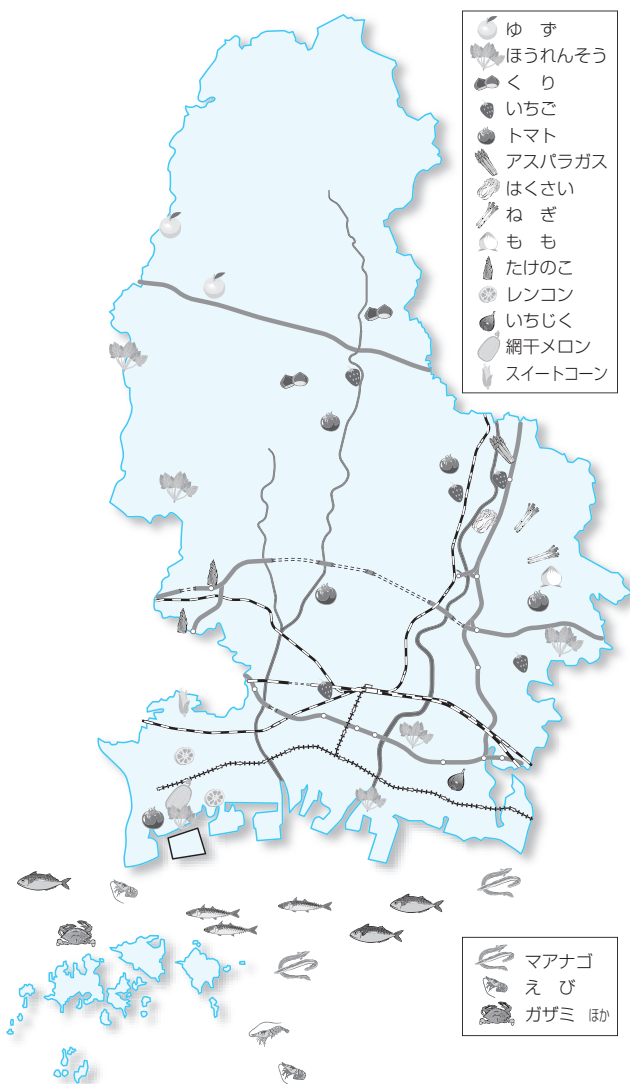
平成13年度 14年度 15年度 16年度 17年度 18年度 19年度 20年度 21年度 22年度

（資料:建設統計月報）

姫路の食材

姫路市は、北は中国山地に面し南は瀬戸内海の家島まで、多様な風土と自然条件に恵まれている。

播磨平野は穀倉地帯であるとともにタケノコ、レンコン、ユズ、モチムギ、小豆、軟弱野菜、酒米等の特徴ある農業生産が盛んに行われ、豊穡な瀬戸内漁場では多種多様な魚介類等の漁獲が進められている。

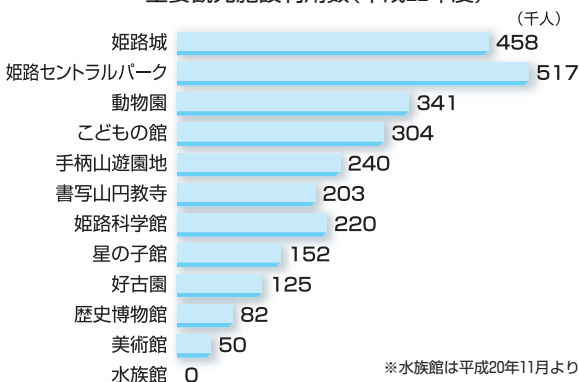


(資料出所:兵庫県)

観光

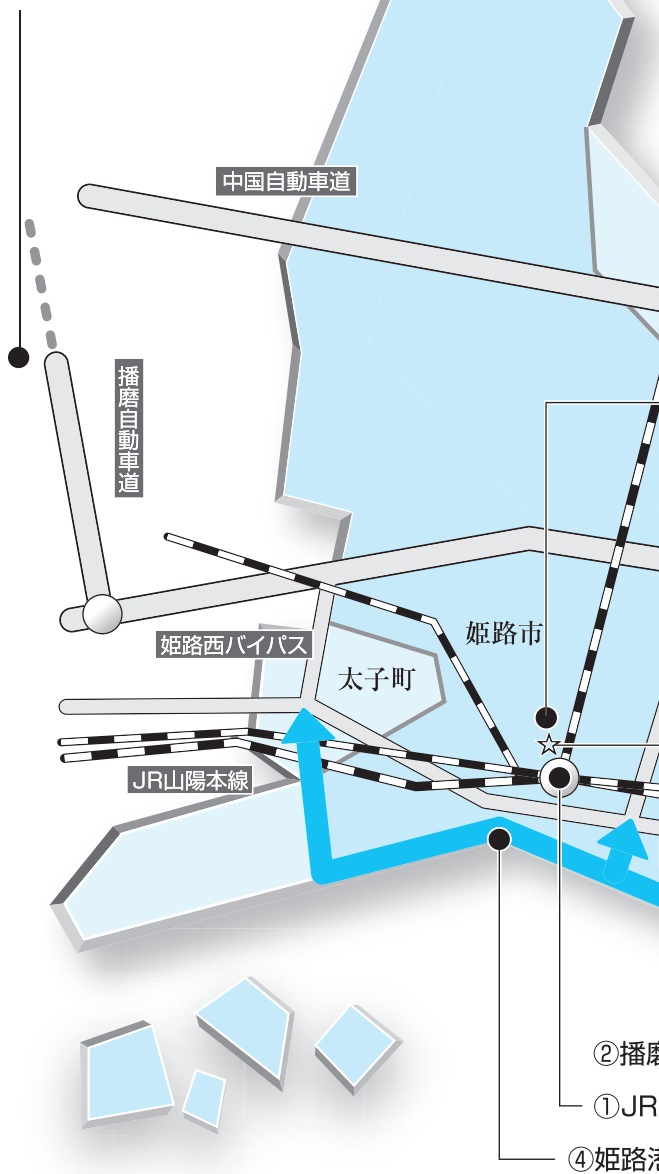
平成22年度に姫路市を訪れた観光客数は791万9千人を数えた。日本で初めて、世界文化遺産に指定された「姫路城」を中心に様々な観光施設がある。

主要観光施設利用数(平成22年度)

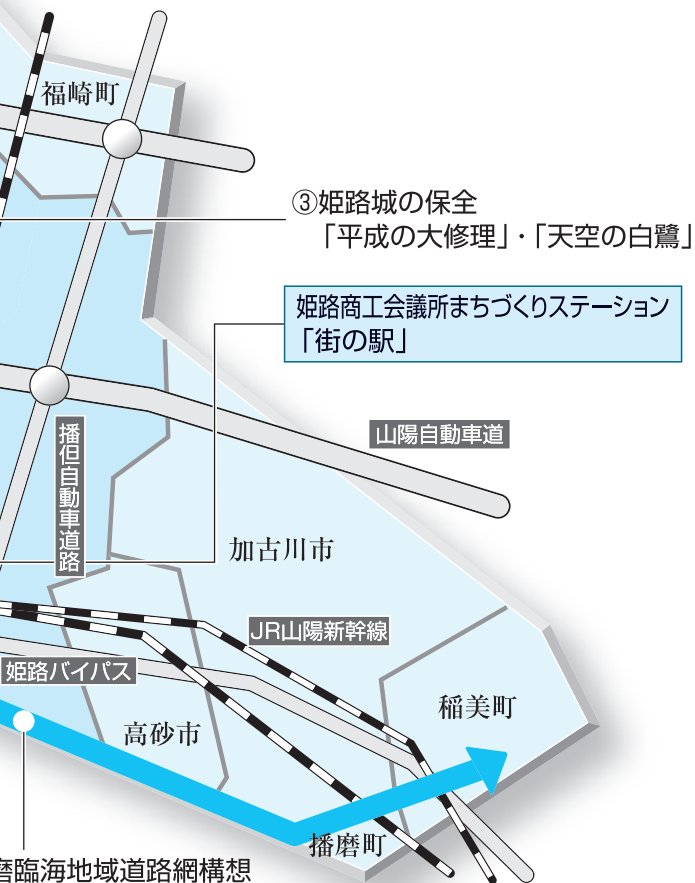


姫路の主要プロジェクト

⑤播磨科学公園都市



■大型放射光施設
SPring-8



瀬臨海地域道路網構想
姫路駅周辺地区の整備
港・港湾整備

■ 姫路の主要プロジェクト

① JR姫路駅周辺地区の整備

平成20年12月、JR姫新線・播但線の高架切替えにより、JR姫路駅周辺の鉄道高架化が完了し、踏切設備の廃止や西側通路の完成等でスムーズな南北通行が実現しました。JR姫路駅の新たな玄関口（エントランスゾーン）については、官民一体となって整備計画を推進しているところです。更に都心部まちづくり構想の下、土地区画整理事業、関連道路整備事業等を推進し、市街地再開発事業等により土地の高度利用を促進するほか、キャストィ21の推進により高次都市機能を集積し、播磨の中核都市にふさわしい魅力と活力ある都心の形成を図っています。

② 播磨臨海地域道路網構想

播磨臨海地域道路は、姫路から明石を結ぶ全長約50kmに及ぶ道路で、1日の通行量が30万台を超える国道2号バイパスの渋滞解消の切り札として、整備が必要不可欠となっています。

この道路を核として、播但連絡道路や国道2号バイパスとの接続道路などの南北交通を含めた道路ネットワークが、播磨臨海地域道路網構想です。また、播磨臨海地域の姫路市、明石市、加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町の4市2町の商工会議所及び商工会で播磨臨海地域道路網建設促進協議会を設立し、播磨臨海地域道路網の早期実現に向けて様々な取り組みを行っています。

③ 姫路城の保全「平成の大修理」・「天空の白鷺」

姫路城大天守保存修理が平成21年度から着手されます。外壁の漆喰の塗り替えや屋根瓦のふき替えのほか、耐震性を高める構造補強等が行われます。（平成26年度完了予定）

平成22年8月、姫路城大天守修理見学施設の愛称を「天空の白鷺」に決定し、平成23年3月にオープンしました。

④ 姫路港・港湾整備

姫路港は瀬戸内海の東部、播磨地域のほぼ中央に位置し、姫路市、たつの市の地先水面、東西約18kmを港湾区域とする特定重要港湾です。播磨工業地帯の中核港湾であり、播磨地域のみならず兵庫県の物流拠点として、地域社会の発展に大きく貢献しています。

⑤播磨科学公園都市

姫路市を母都市とする播磨科学公園都市は、人と自然と科学が調和する高次元機能都市をトータルコンセプトとして、先端技術産業を育成、導入し、学術研究機関の整備が進められています。世界有数の研究設備を備えており、とりわけ大型放射光施設「SPring-8」は世界最高水準の放射光実験施設で、また平成23年には「X線自由電子レーザー」を生み出す最先端科学技術施設が誕生する予定で、国内外の科学者の注目を集めています。

また、平成15年には先端光科学技術特区の認定を受けており、播磨地域での新産業創出、産業活性化・高度化が期待されています。

姫路市の統計データ・ランキング

ランキングの対象は786市

面積・人口・世帯

	姫 路 市	
面積	129位	534.44km ²
人口(住民基本台帳)	30位	536,338人
世帯数(住民基本台帳)	37位	214,187世帯

財政力

経常収支比率	85位	85.3%
公債費負担比率	289位	14.5%
実質公債費比率	269位	10.9%
将来負担比率	373位	103.7%
財政力指数	181位	0.89

経済力

事業所数	29位	27,588事業所
従業者数	31位	272,321人
上場企業本社	32位	16社
製造品出荷額等	19位	16,162億円
卸売業年間販売額	43位	11,555億円
小売業年間販売額	32位	5,952億円
大型店店舗数	30位	82店
大型店店舗面積	27位	436,503m ²
農業産出額	280位	77.9億円

マンパワー・生活基盤等

労働力人口	30位	261,866人
納税者1人当たり所得	201位	314.2万円
世帯当たり乗用車保有台数	469位	1.25台
人口1万人当たり病院数	307位	8.3所
人口1万人当たり医師数	259位	19.6人

資料：都市データバック2011年版



姫路商工会議所

〒670-8505 姫路市下寺町43番地

TEL.(079)223-6554

FAX.(079)288-0047